



2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

サイバートラスト株式会社
東証グロース:4498
2022年10月25日

Agenda

1. 2023年3月期 第2四半期業績概要
2. 2023年3月期 通期業績見通し
3. 3カ年で目指す姿と成長戦略
4. APPENDIX

1. 2023年3月期 第2四半期 業績概要

2023年3月期 第2四半期 連結業績

飛躍的成長を目指す3カ年計画(BizX20/40)の実現に向け順調に進捗

- 全ての指標において二桁成長かつ第2四半期業績として過去最高
- パートナー協業深化、デジタルマーケティングの取り組みによりリカーリング売上が継続して伸長

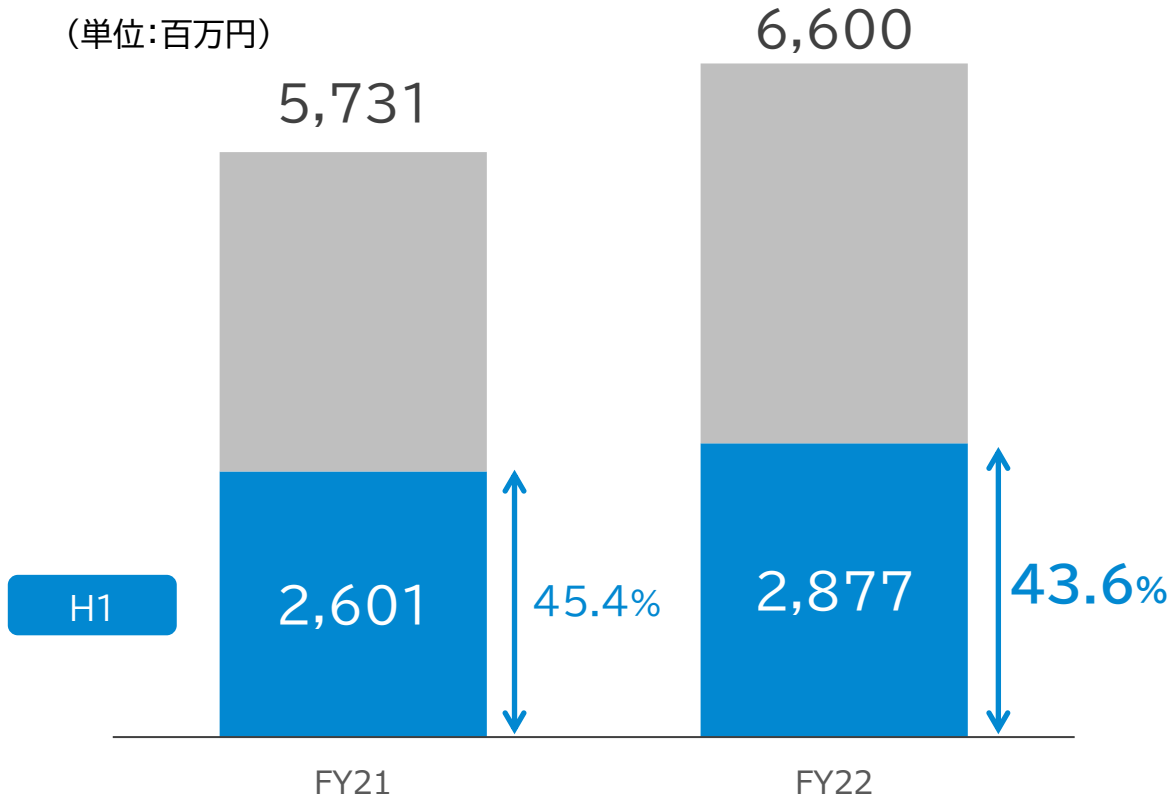
| (単位:百万円) | FY21 | FY22 | 増減額 | 増減率 | 通期業績予想 | 通期業績予想 進捗率 |
|---------------------|-------|--------------|------|--------|--------|---------------|
| 売上高 | 2,601 | 2,877 | +276 | +10.6% | 6,600 | 43.6% |
| 営業利益 | 292 | 410 | +117 | +40.0% | 1,000 | 41.0% |
| 経常利益 | 289 | 417 | +127 | +44.2% | 1,000 | 41.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 186 | 280 | +94 | +50.9% | 670 | 41.9% |
| EBITDA | 532 | 687 | +154 | +29.0% | — | — |

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 資産除去債務関連費用

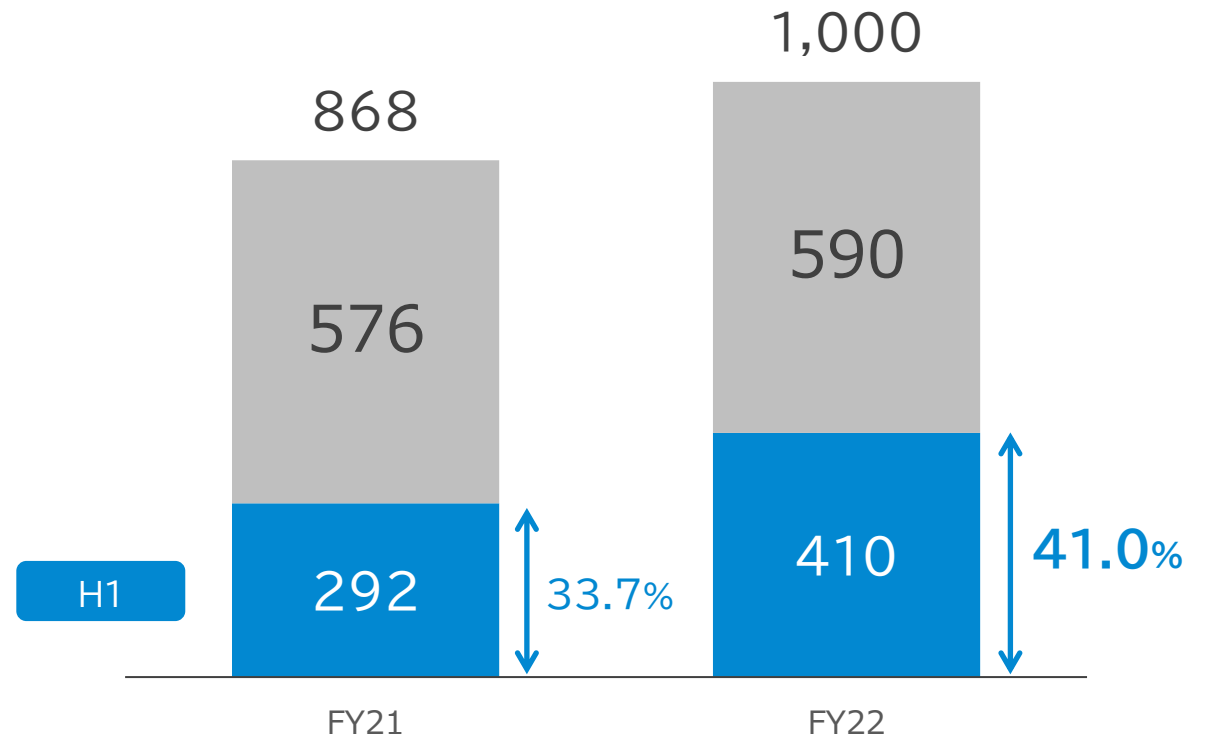
通期業績予想に対する進捗率

売上高

(単位:百万円)



営業利益

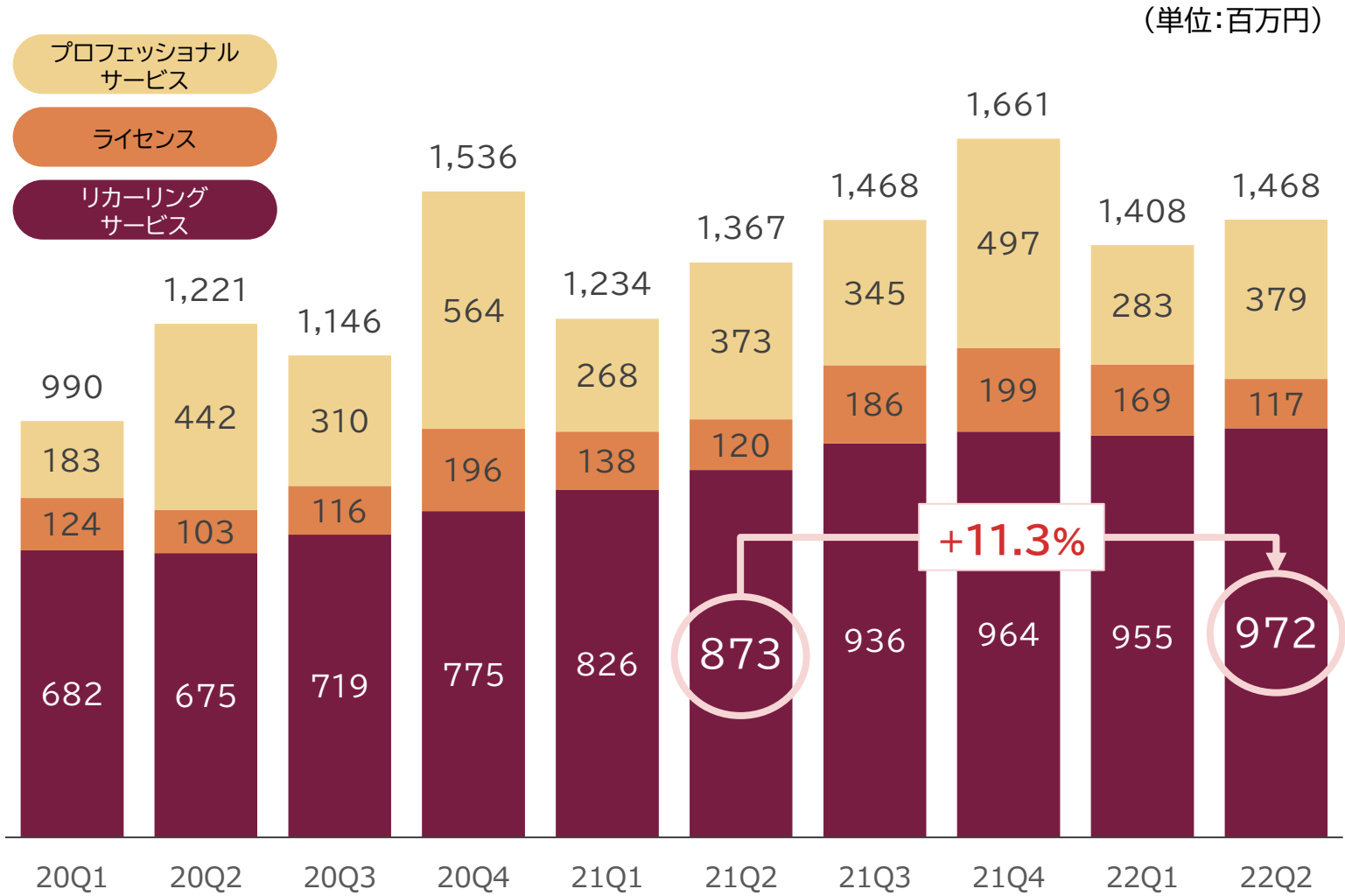


- パートナー協業の深化、デジタルマーケティングの実行により、リカーリングサービスが増収
- 下期に向け受注残の積み上げ進む

- リカーリング売上比率の向上により営業利益の進捗率は大幅に良化
- iTrustがリカーリング売上の伸びを牽引

取引形態別売上高

DX推進で四半期のリカーリング売上が過去最高



サイバートラストのリカーリングモデル

(A) 契約件数に応じた収益モデル

| | |
|-------------|---------------|
| 認証・セキュリティ | SureServer |
| | デバイスID など |
| Linux / OSS | Linuxサポート |
| | ZBXサポート など |
| IoT | EMLinuxサポート |
| | SIOTPライセンス など |

(B) トランザクション数に応じた収益モデル

| | |
|-----------|--------|
| 認証・セキュリティ | iTrust |
|-----------|--------|

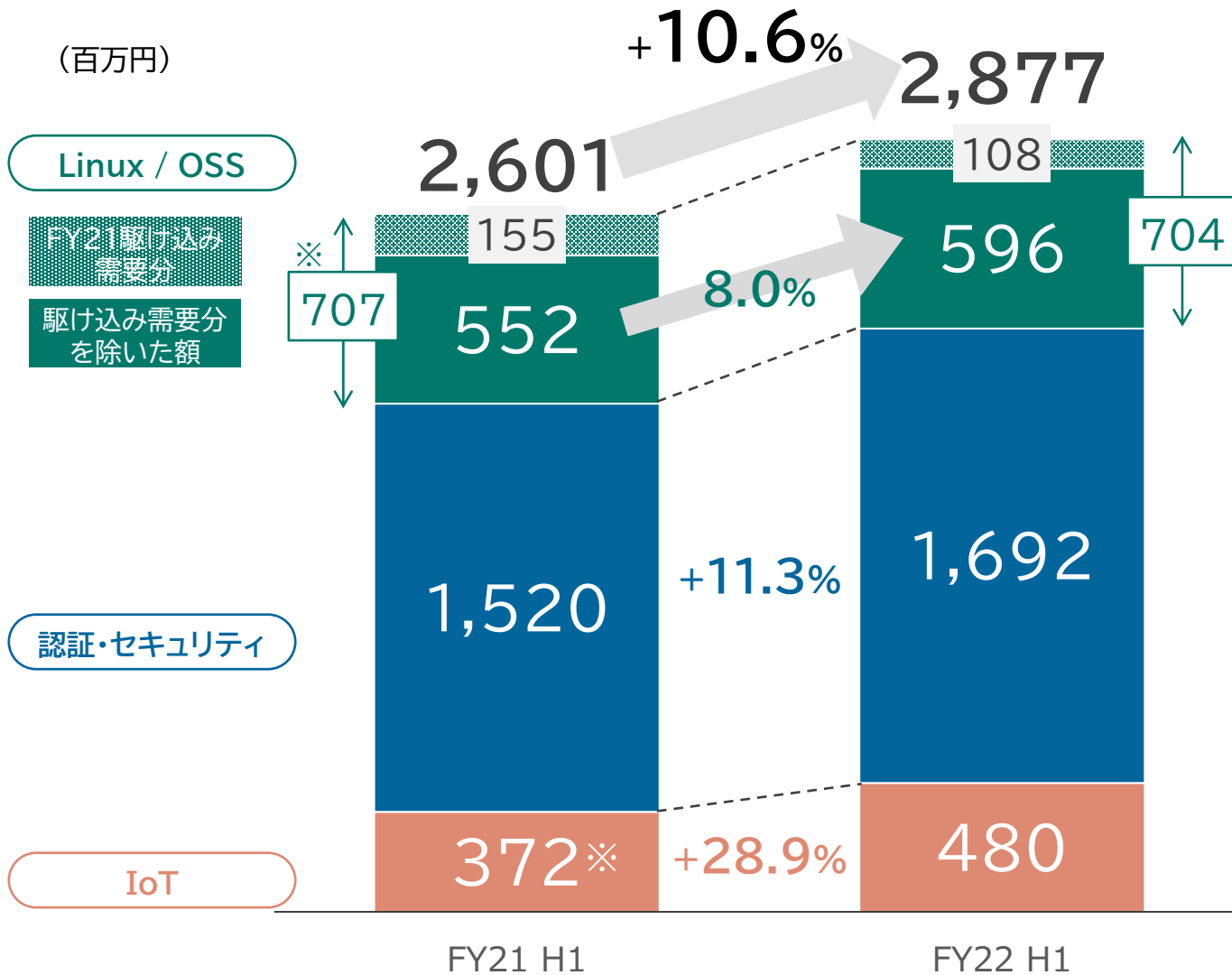
iTrustがリカーリングの伸びを牽引

- ▶ **マイナンバーカード**の普及に伴い iTrustパートナー企業における
 - ① 本人確認や
 - ② 電子署名の**トランザクション数**が増加
- ▶ 年度末にトランザクションが集中する傾向

| | |
|--|--------------|
| マイナンバーカード 全人口比交付比率 2022年10月18日時点 | 50.1% |
|--|--------------|

サービス別売上高

(百万円)



Linux/OSS

FY21のCentOS駆け込み需要を除いた実質成長は前期比8.0%

認証・セキュリティ

顧客のDX推進で、端末認証・本人確認・電子署名のニーズ旺盛で二桁成長

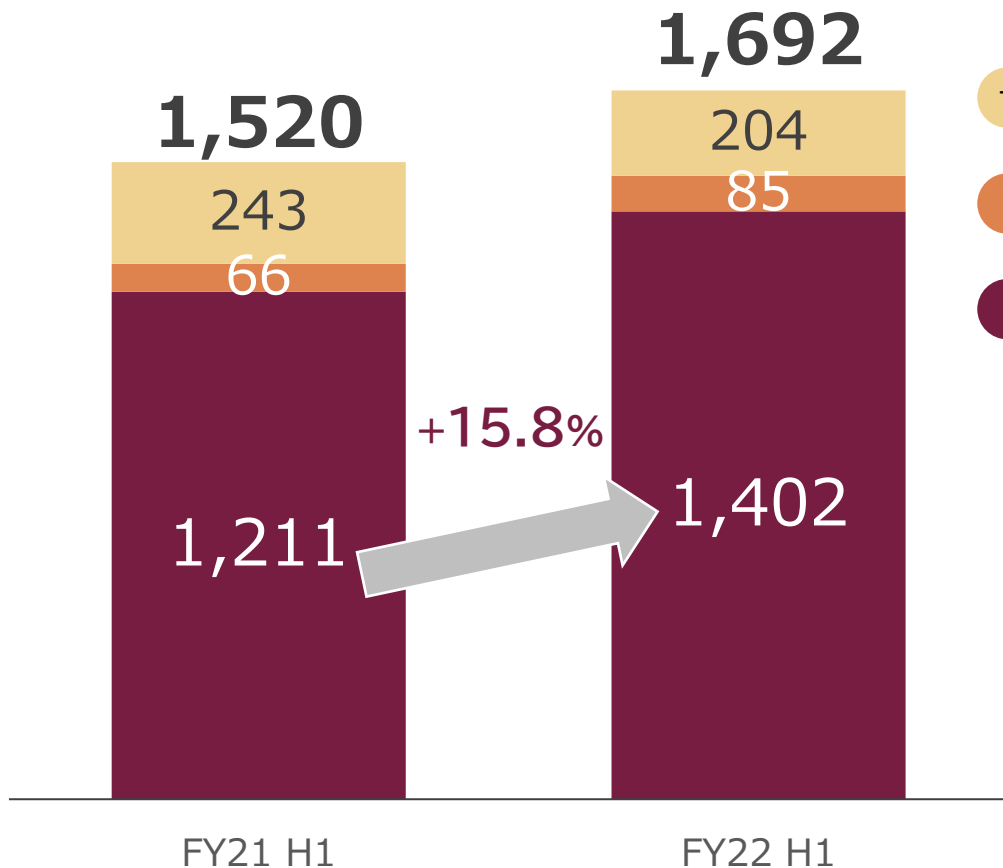
IoT

EMLinux関連カスタマイズ開発と受託開発案件取引伸長で二桁成長

※ FY21 Q2決算発表値におけるLinux/OSSの売上高は725百万円、IoTの売上高は355百万円でした。FY21の期中にサービス別売上高の内訳を変更したことによるものです。

認証・セキュリティサービス 売上高 (形態別)

(百万円)



- プロフェッショナルサービス
- ライセンス
- リカーリングサービス

リカーリング売上前年比15.8%増

リカーリングサービス

デバイスID

- 企業向けのクラウド認証サービス、リモートアクセス等のパートナー企業との取引増加

iTrust

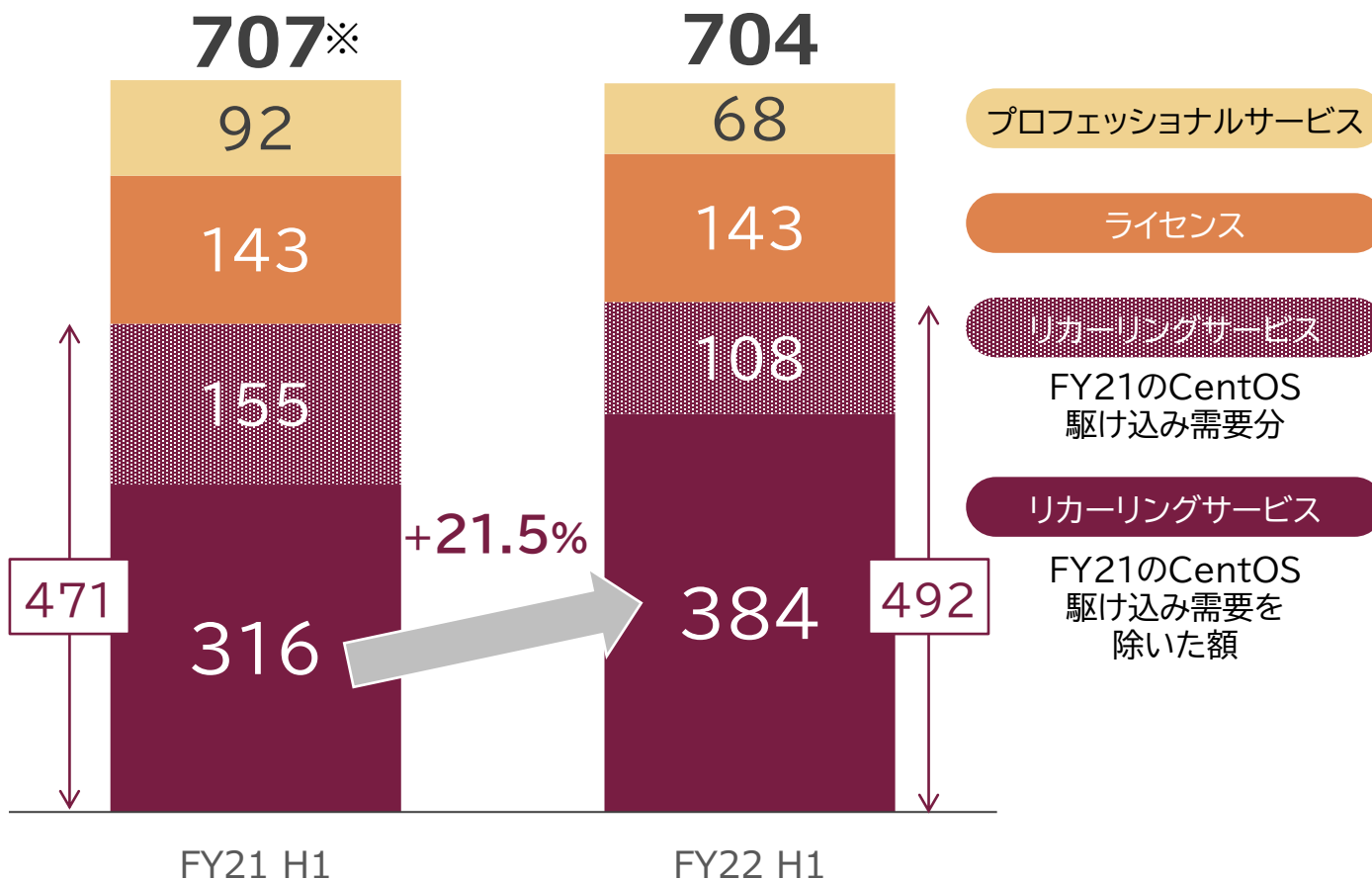
- 本人確認(金融機関向けeKYCサービスなど)、電子署名(電子契約サービス)、のパートナー企業との取引増加

SureServer

- 既存顧客買い増し、パートナー企業との取引増加

Linux/OSSサービス 売上高(形態別)

(百万円)



リカーリング実質成長21.5%

リカーリングサービス

- CentOS駆け込み需要分を除いたリカーリングの実質成長率は前期同期比**21.5%**
- Linuxサポート**では既存大型顧客で一部減額があったものの、国内最大手SNS事業者の大型案件獲得などで成長を継続

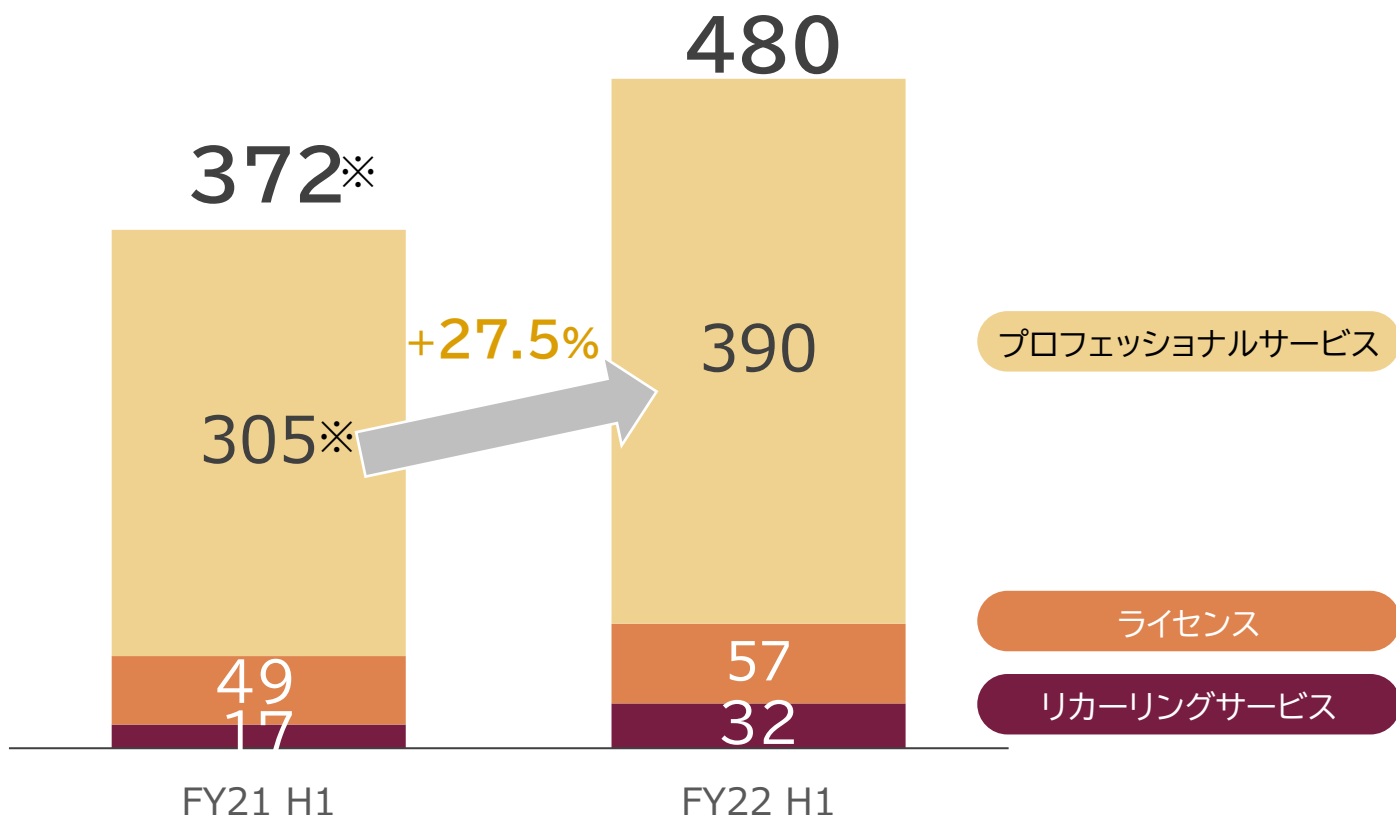
【CentOS駆け込み需要分とは】

CentOS Projectより2021年12月31日でメンテナンス更新を終了することが発表された「CentOS 8」を含むコミュニティによるメンテナンス終了製品の、導入予定または導入済みのお客様を対象とした当社による救済(CentOS延長サポート)サービスで、2022年3月までに当社が獲得した案件

※ FY21 Q2決算発表値においてはLinux/OSSサービス全体が725百万円、そのうちプロフェッショナルサービスが110百万円でした。FY21の期中にサービス別売上高の内訳を変更したことによるものです。

IoTサービス 売上高(形態別)

(百万円)



受託開発復調 / 前年比27.5%成長

プロフェッショナルサービス

- 「EMLinux」カスタマイズ開発が伸長
- 車載機器、産業機器、プリンタ、医療機器で製品向け採用、開発がスタート、後続案件としてリカーリングビジネス(長期サポート契約)の獲得が可能
- 子会社のリネオソリューションズは組込受託開発案件が想定を上回る

リカーリングサービス

- 車載機器、産業機器の「EMLinux」サポート・SIOTP案件により着実に積み上げ

※ FY21 Q2決算発表値においてはIoTサービス全体が355百万円、そのうちプロフェッショナルサービスが288百万円でした。FY21の期中にサービス別売上高の内訳を変更したことによるものです。

2. 2023年3月期 通期業績予想

2023年3月期 通期業績見通し

各利益を上方修正

リカーリング売上の上半期の想定以上の結果、および下半期の堅調推移見通しに基づく修正

売上高は据え置き

半導体の供給不安定は一部領域で持ち直し、受託開発案件の伸長継続する見込む、一方世界的な金融資本市場の変動や物価上昇など外部環境に不透明さが残るため据え置き

| (単位:百万円) | FY21 | FY22 期初見通し | FY22 今回見通し | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|-------|---------------|---------------|-----|-------|
| 売上高 | 5,731 | 6,600 | 6,600 | ±0 | — |
| 営業利益 | 868 | 1,000 | 1,050 | +50 | +5.0% |
| 経常利益 | 872 | 1,000 | 1,050 | +50 | +5.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 530 | 670 | 704 | +34 | +5.1% |

3. 3カ年で目指す姿と成長戦略

“信頼とともに”今後の飛躍的成長を実現するために掲げたスローガン

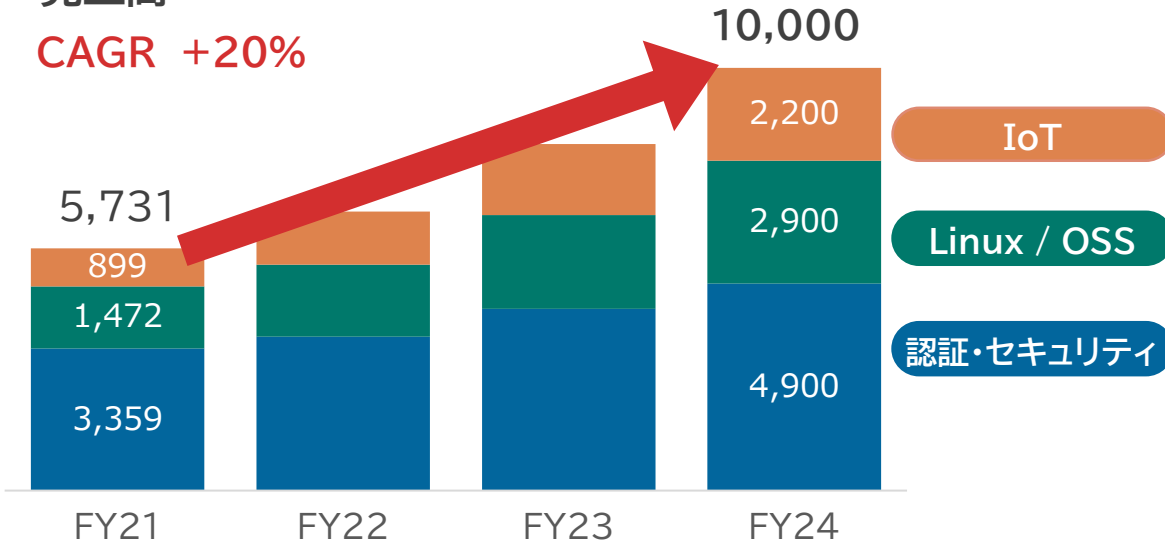
BizX 20/40

Reinvent, Focus, Global
For Mid Term Growth

BizX20/40 – 3カ年で目指す姿

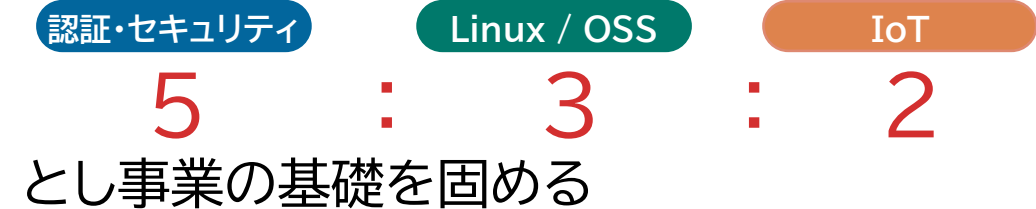
売上高

CAGR +20%



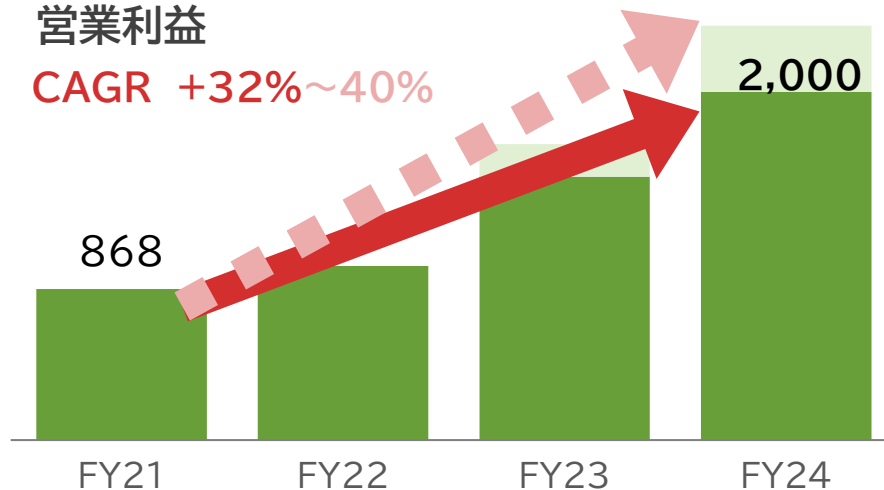
FY24売上高目標 100億円

各サービスのリカーリング売上を中心に成長し
FY24のサービス別売上構成比を



営業利益

CAGR +32%~40%



FY24営業利益20億円以上

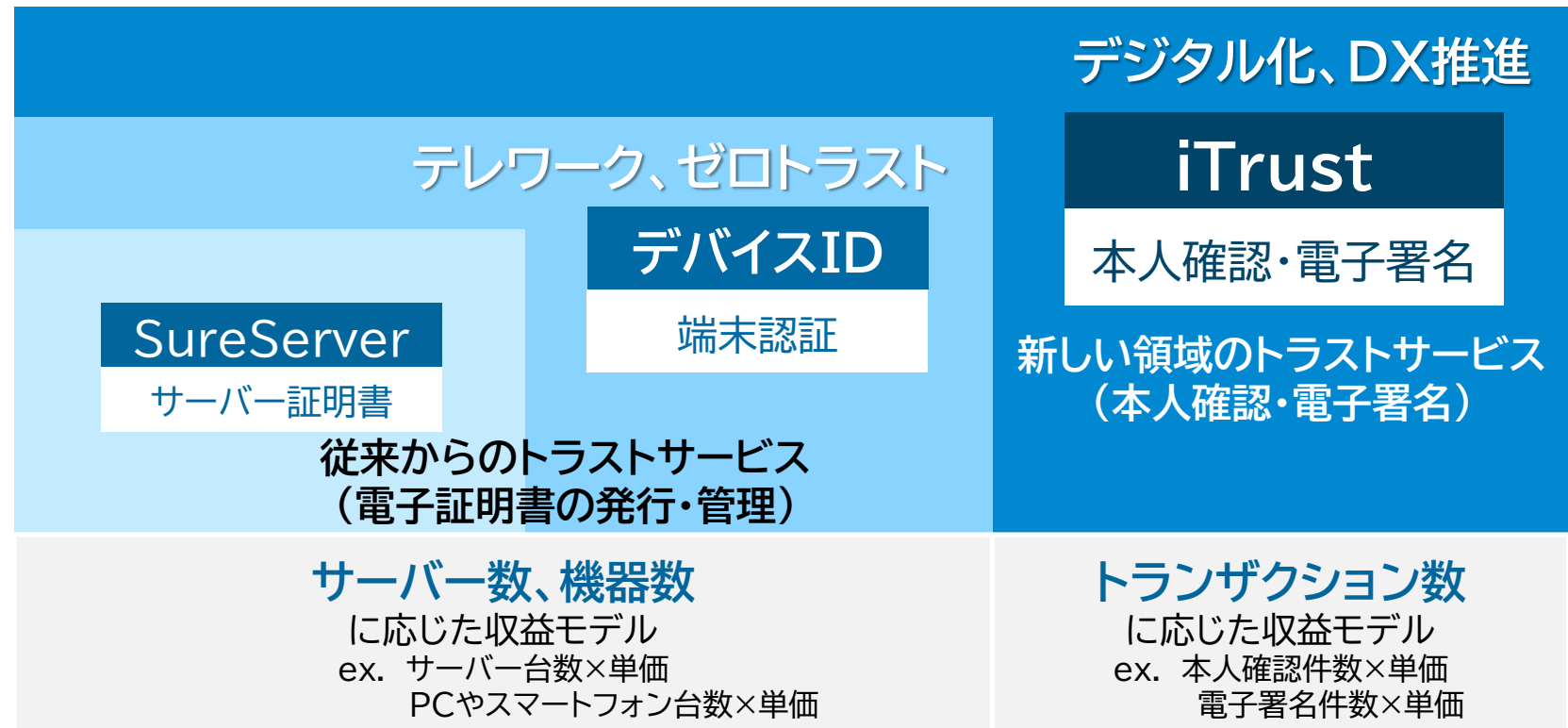
- IoTサービス リカーリング率30%水準で利益貢献
- CAGRは、①国際安全基準の動向、②不安定な半導体供給の継続、の外部環境の不確実性による影響を鑑みレンジ設定

単位:百万円

DXで重要な役割を担う “新しい領域のトラストサービス”へ事業を拡大 二桁成長を継続

- デバイスID、iTrustの主要なVARパートナーは関連DX業界のリーディングカンパニー
- 新しい領域のトラストサービスのiTrustは、トランザクション数に応じた従量課金でVARパートナーのDX事業収益に応じて拡大

認証・セキュリティ サービス



～ クラウドやテレワーク利用時の端末認証の導入推進 & ゼロトラスト・ソリューションベンダーとの連携 ～

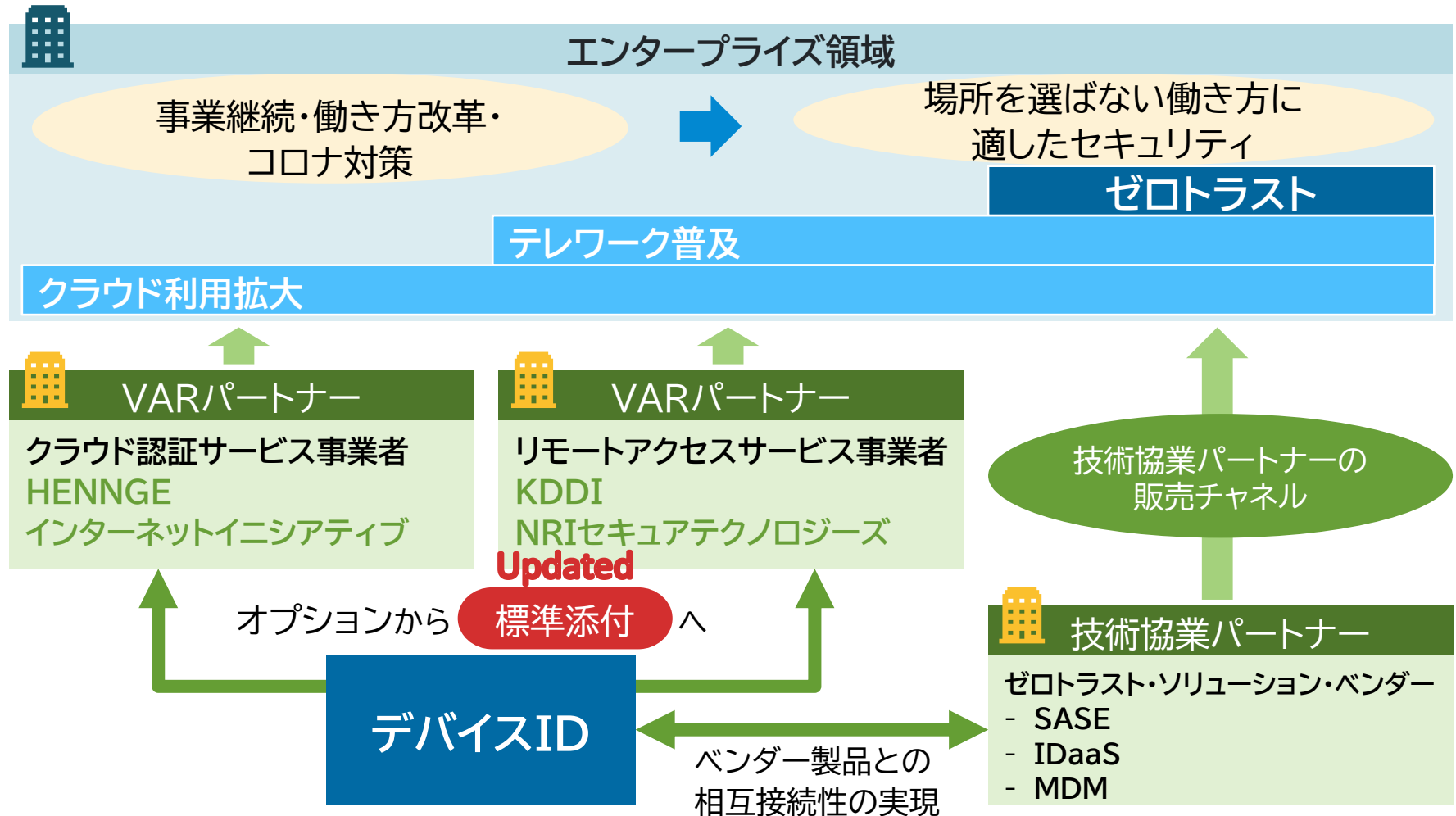
FY22 Q2の進捗 Updated

- ゼロトラストによる端末認証の需要拡大により、IDaaSベンダー等との技術協業パートナー獲得が進行
- セキュリティ強化のためVARパートナーの多要素認証における端末認証の標準添付化の動き

新規VARパートナー

2022.8 メタックス

- ・ SaaS 一元管理ツール「メタックスクラウド」に連携



～ 免許証や保険証などのマイナンバーカードへの一体化による本人確認ニーズの拡大 ～

FY22 Q2の進捗 **Updated**

市場動向

- 政府の健康保険証の一本化の方針
- さらなるマイナンバーカードの普及促進が見込まれる
- 改正会社法:株主総会資料の電子提供制度施行(2022.9)

当社の対応

2022.8

- 株主総会資料の発行元証明/改ざん対策ソリューション提供開始

新規VARパートナー

| | |
|----------------------|------|
| 2022.8 スカラコミュニケーションズ | 電子署名 |
| 2022.8 PICK | 電子署名 |
| 2022.8 Y4.com | 本人確認 |
| 2022.8 ネクスウェイ | 本人確認 |

VARパートナーのDX関連サービス領域

本人確認

マイナンバーカード(公的個人認証)を用いた本人確認サービス

口座開設(銀行口座、証券口座等)

スマート決済(QRコード決済など)

継続的顧客管理(顧客の現況確認)

マイナンバーカード取得率向上に伴う
非対面の電子的本人確認が増加

電子署名

電子署名用証明書、
リモート署名サービス

電子契約(エンタープライズ、金融、不動産)

改正電子帳簿保存法に基づく電子データ保存

電子インボイス/**株主総会資料** **Updated**

各種法改正によるデジタル化の推進により
電子契約利用範囲や電帳法対応の拡大



VARパートナー

DX関連クラウドサービスプロバイダー等

弁護士ドットコム、大日本印刷、日立製作所、Liquid、TRUSTDOCK

iTrustの信頼性を裏付ける認定取得・監査合格

- 主務大臣認定公的個人認証プラットフォーム事業者
- WebTrust for CA
- AATL(Adobe Approved Trust List Program)
- JIPDEC トラステッドサービス(リモート署名/電子契約)

パートナーエコシステム

- 2021年「MIRACLE LINUX」ライセンス無償提供により「地域」の中小事業者、「地方」公共団体の関心が高いことが判明
- 「地域」「地方」を含めた全国の事業者、自治体へ本格展開すべく新たにパートナーエコシステムを導入

～パートナーエコシステムにより新たなOSSビジネスの成長へ～

地場のパートナー企業に当社が営業・マーケティング・技術の支援を行い新規顧客・市場を開拓

パートナー企業数

100社目標



対象プロダクト



パートナー候補企業

□ーカルキング (地場の中小・中堅企業を顧客とするSIer)



対象顧客・市場

地域の
中堅企業

地方
公共団体

教育機関
(大学など)



メリット

- 従来未開拓だった顧客・市場へのアプローチ
- リカーリング売上の伸長
- パートナー企業は仕切りによりリカーリングの継続収入を得る

国際安全基準 + OSSコミュニティとの連携で IoT機器のセキュリティに取り組む

IoTサービス

1

OSSセキュリティ

- 従前のハードウェアのライフサイクルマネジメントに加えて
その上で動くミドルウェアやOSのセキュリティを
グローバルのコミュニティで守り抜こうという動き

2

リカーリングへ繋げる動き

- ソフトウェア面のセキュリティを強化した自社サービスに繋がる
EMLinuxのカスタマイズ開発 & セキュリティコンサルに注力

国際安全基準
に準拠した
自社サービス

 EMLinux

長期利用可能な IoT・組み込み用 Linux OS

 Secure
IoT Platform

IoT の安全性・本物性を担保しライフサイクル管理

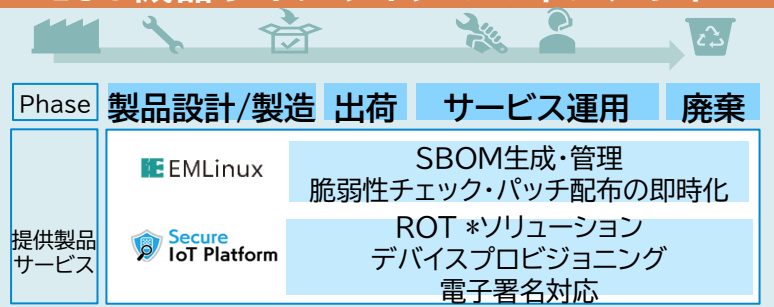
～OSSセキュリティに対応し国際安全基準に準拠したIoTサービスを提供できる唯一の会社～

• OSSコミュニティとの連携でセキュリティ強化に向けた動員プランへの取り組み

• IoT機器のハードウェアに加え
• ミドルウェア領域を含むソフトウェアも国際安全基準に準拠

他社に先駆けて
IoTサービスのソフトウェア
拡充機能を市場投入

IoT機器ライフサイクルマネジメント



× 連携

OSSセキュリティ



OSSのセキュリティ
強化と管理
SBOM普及



高品質のOS
超長期サポート

OSSセキュリティ強化に向けた当社の対応

次の10項目の動員プラン※のうち、7項目に重点をおき活動開始

| | | | |
|---------------|-----------------|-----------|------------|
| 1. セキュリティ教育 | 2. リスク評価 | 3. デジタル署名 | 4. メモリの安全性 |
| 5. インシデントへの対応 | 6. スキャン機能の向上 | 7. コード監査 | 8. データ共有 |
| 9. SBOMの普及 | 10. サプライチェーンの改善 | | |

※2022年5月米政府とLinux Foundation/OpenSFFとの会談を機に制定

当社の取り組む7つの重点分野

～エンジニアを積極投入しコミュニティに貢献し、日本のOSSセキュリティをリードしていく～

セキュリティ動員計画の10項目のうち7つの重点分野の活動を開始

1. セキュリティ教育

- OpenSSFで発行する英語コンテンツの和訳
- コミュニティ、市場でのトレーニング、セミナーの実施

3. デジタル署名

- 電子認証局運営の知見共有
- 国内での Sigstore※運用可能性の検討

6. スキャン機能の向上

- 新しい脆弱性の検出の加速

7. コード監査

- OSS コンポーネントのサードパーティコードのレビュー(監査)の施策実施

8. データ共有

- ディストリビューターの知見を活かした、OSS 利用状況、共通プラットフォーム一覧のゆらぎ等の情報フィードバック等

9. SBOM※の普及

- 自社製品の脆弱性管理ツールやEMLinuxとのSBOM連携の強化、提供

10. サプライチェーンの改善

- CIPなどのコミュニティへの積極参加、フィードバックと自社製品への迅速な取り組み

認証とLinux/OSSの双方を技術を有するため
多くの項目への取り組みが可能

※Sigstore :OSSの出所と真正性を確認する署名サービス

※SBOM: ソフトウェア部品表。
ソフトウェアサプライチェーンにおける追跡可能性等を確保する手段。

セキュリティ特化とリカーリングへの移行

FY22 Q2の進捗

■ 組込受託開発

サイバートラスト

- 産業機器向け新規受託開発案件顕在化
- リネオソリューションズ(連結子会社)
- 既存顧客からの需要の確実な回復基調

■ セキュリティコンサル

- 防衛、電力/工場、自動車、産業機器、IoTサービスなど①重要インフラ②輸出向け機器の案件増加

■ 自社サービス

EMLinux



- OEM車載機器、医療機器の製品搭載向け開発及び産業機器製品サポート開始

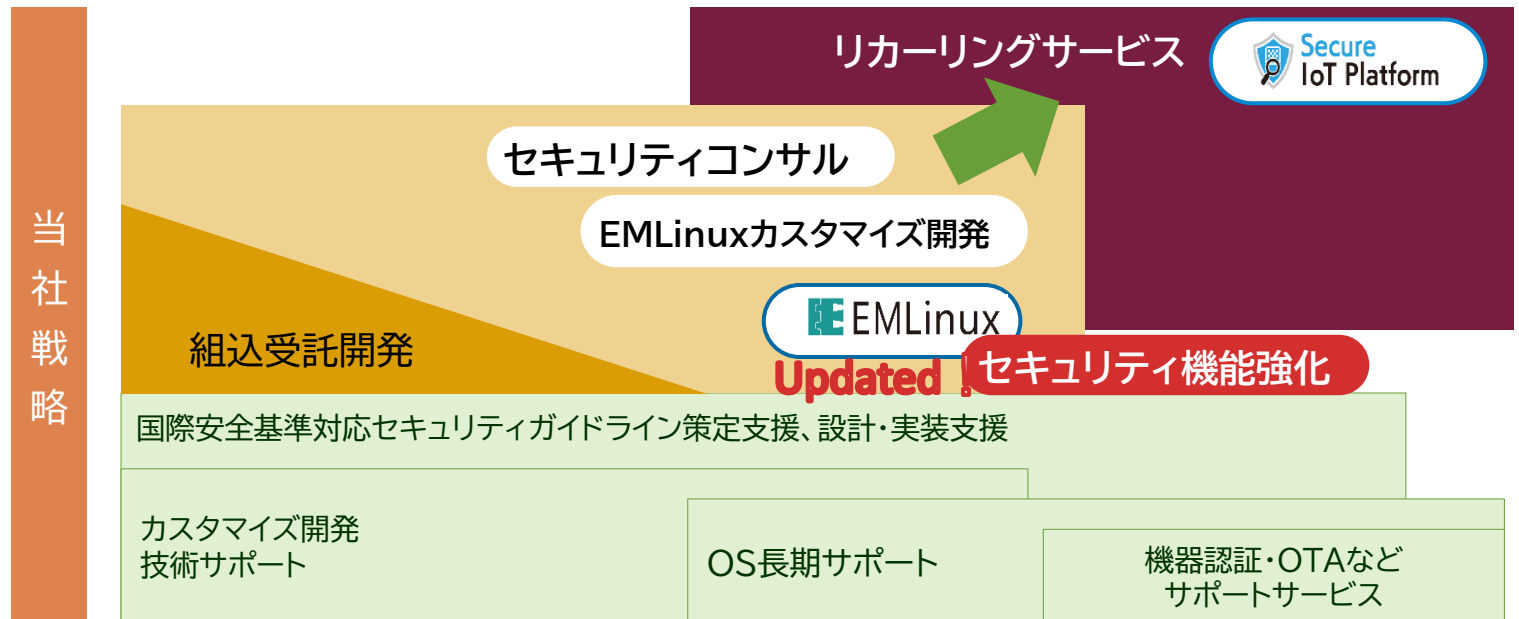
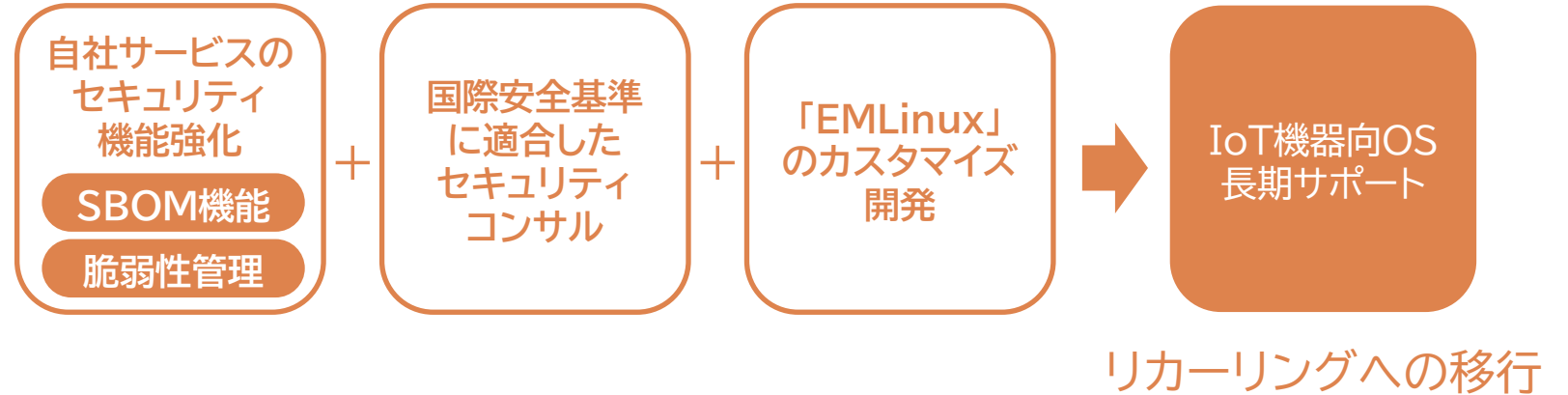
SIOTP



- 家電/車載向け共通基盤構築に向けた開発案件を継続受注

LINEOWarp!!

- 超高速起動ソリューション
- 新規/既存ともに伸長



BizX20/40実現に向けた重要5テーマ **Updated**

| | | |
|---|------------------|---|
| 1 | 成長する組織と人材育成 | <ul style="list-style-type: none">● 多様な働き方の選択肢(スーパーフレックス、ふるさとテレワークなど)● 従業員に対する教育と技能向上支援の実施● ジェンダー平等を実現するための女性幹部社員の育成 |
| 2 | 新規市場の立ち上げとフォーカス | <ul style="list-style-type: none">● 地域の中堅企業・地方公共団体● パートナーエコシステムの立ち上げ・展開 |
| 3 | 将来に向けた研究開発 | <ul style="list-style-type: none">● 耐量子計算機暗号(PQC : Post Quantum Cryptography)● ブロックチェーン● グリーンデータセンター(認証局のカーボンニュートラル化) |
| 4 | グローバル展開 | <ul style="list-style-type: none">● Tuxera社(フィンランド)との提携 ～世界をリードするストレージ管理ソフトウェア企業～ ～さらなるパートナーシップの深化について議論継続中～ |
| 5 | システム安定稼働 品質確保 | <ul style="list-style-type: none">● 首都直下型地震を想定したBCP(事業継続計画)対策 ～トラストサービス提供基盤の冗長化～ |

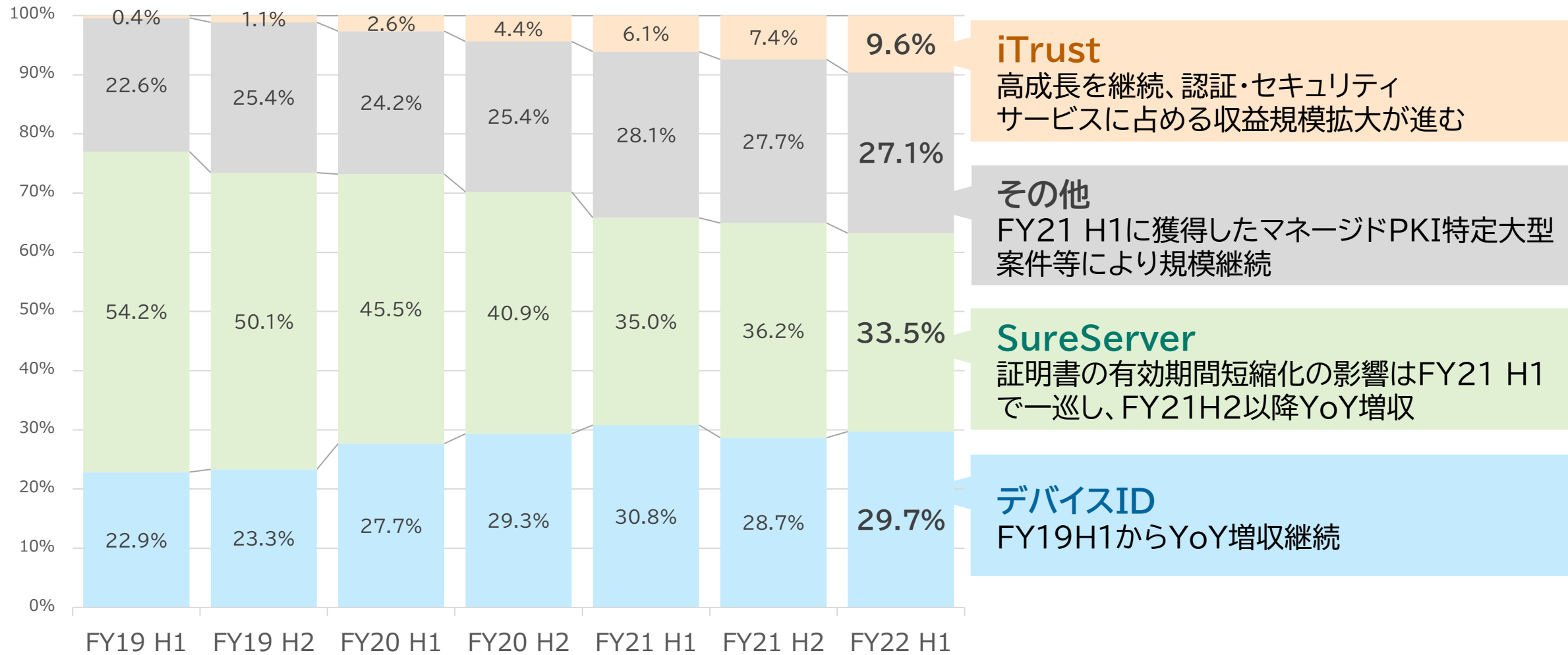
3. APPENDIX

流通株式比率(グロース市場の上場維持基準)について

当社の2022/9/30時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下の通りです。

- ① 流通株式比率は基準の25%に対して、21.6%まで改善
- ② 引き続き大株主への売却交渉等を実施中
- ③ 発表の計画期間(25年3月末まで)から前倒し達成する方針

※参考 : 2022/6/28「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書に基づく進捗状況について」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4498/tdnet/2149412/00.pdf>

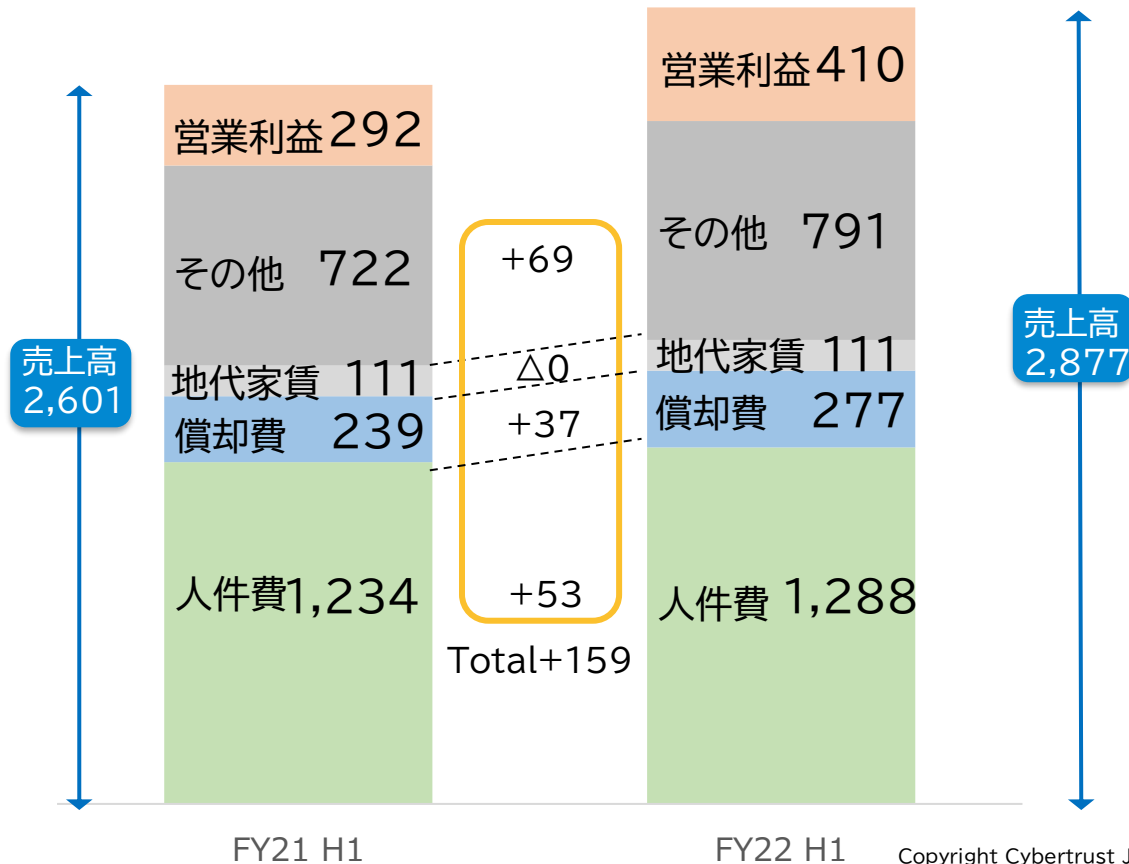


サーバー証明書に次ぐ、柱としてデバイスID、iTrustが順調に成長

リカーリングサービスの継続的成長に必要な 設備投資により償却費は増加

費用の推移 (連結)

(百万円)



設備投資方針

好調な電子認証サービスの提供能力増強、及び IoTサービスの将来の成長に向けた設備、自社開発ソフトウェアへの投資などを積極的に実施

FY22のコスト構造

前年同期比の主なコスト構造の変化は以下の通り

費用全体 159百万円増

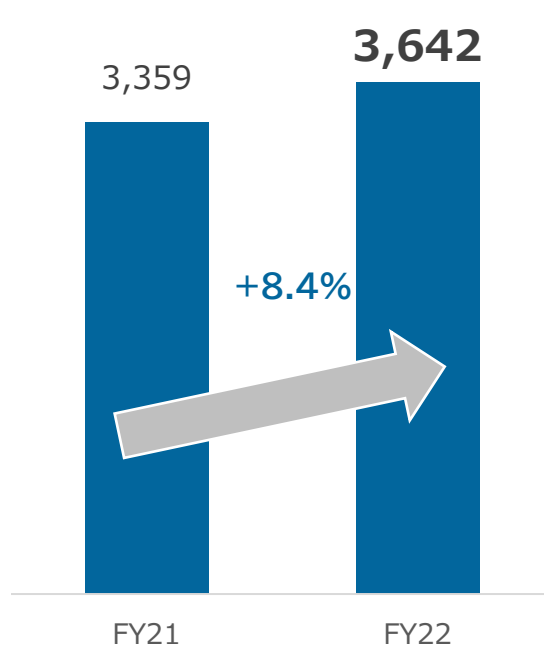
人件費 53百万円増 新卒・中途採用

償却費 37百万円増 デバイスID、iTrust及びIoTなどの設備投資やソフトウェア開発に関連し増加

2023年3月期 通期業績予想(サービス別売上)

認証・セキュリティ

(単位:百万円)



デバイスID、iTrust継続成長

Linux/OSS

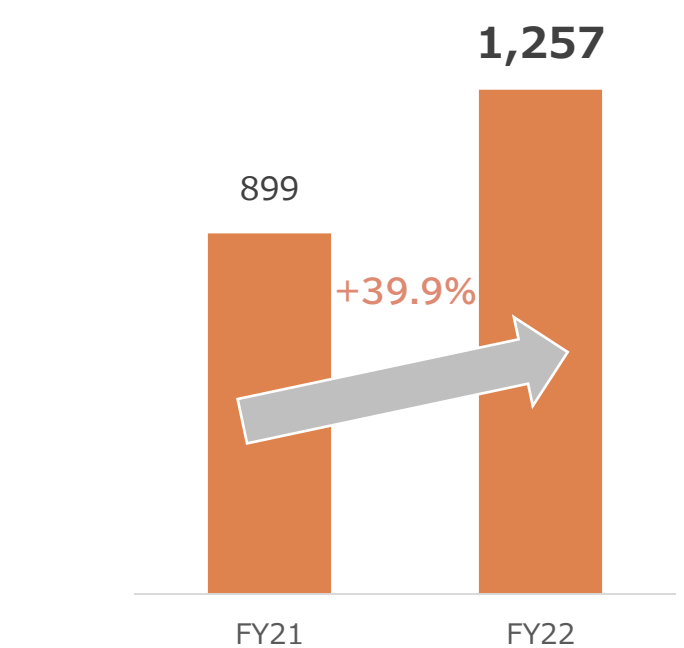
(単位:百万円)



MIRACLE LINUX、MIRACLE ZBX継続成長

IoT

(単位:百万円)



受託開発が一部回復、国際安全基準の整備進行によりセキュリティコンサル、リカーリングサービスが伸長

連結PL(サービス別売上詳細)

| 連結業績(百万円) | FY19 | FY20 | FY21 |
|---------------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 4,421 | 4,895 | 5,731 |
| 認証・セキュリティサービス | 2,818 | 2,925 | 3,359 |
| ライセンス | 251 | 126 | 203 |
| プロフェッショナルサービス | 480 | 592 | 567 |
| リカーリングサービス | 2,086 | 2,205 | 2,588 |
| Linux/OSSサービス | 1,001 | 1,095 | 1,472 |
| ライセンス | 274 | 296 | 334 |
| プロフェッショナルサービス | 135 | 182 | 164 |
| リカーリングサービス | 592 | 617 | 973 |
| IoTサービス | 600 | 874 | 899 |
| ライセンス | 117 | 118 | 108 |
| プロフェッショナルサービス | 475 | 725 | 752 |
| リカーリングサービス | 8 | 30 | 38 |
| 売上原価 | 2,395 | 2,734 | 3,167 |
| 売上総利益 | 2,026 | 2,160 | 2,563 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,488 | 1,586 | 1,694 |
| 営業利益 | 537 | 574 | 868 |

連結BS



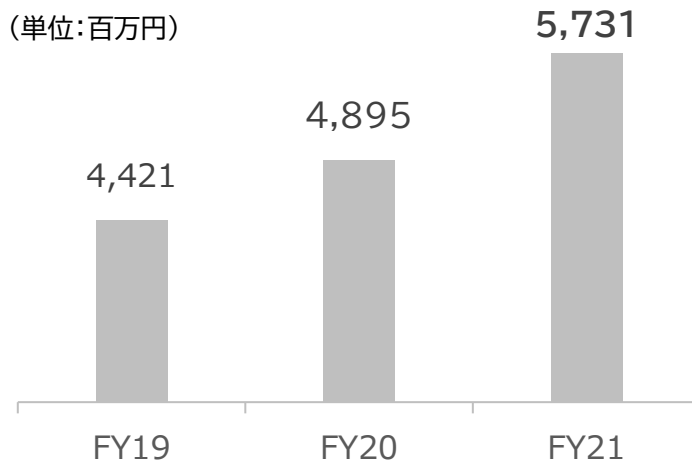
単位:百万円

| | 2020/3末 | 2021/3末 | 2022/3末 | 前期末比 |
|--------------------|---------|---------|---------|--------|
| 流動資産 | 2,822 | 3,124 | 4,613 | +1,488 |
| 現預金 | 1,913 | 1,962 | 3,577 | +1,614 |
| 受取手形、売掛金 及び契約資産 | 795 | 893 | 861 | △32 |
| 固定資産 | 2,083 | 2,728 | 2,606 | △118 |
| 有形固定資産 | 467 | 544 | 531 | △13 |
| 無形固定資産 | 1,053 | 1,735 | 1,629 | △106 |
| 投資その他の資産 | 563 | 444 | 445 | +1 |
| 総資産 | 4,906 | 5,851 | 7,222 | +1,370 |
| 流動負債 | 1,112 | 1,585 | 1,786 | +201 |
| 固定負債 | 349 | 413 | 562 | +149 |
| 純資産 | 3,444 | 3,853 | 4,874 | +1,020 |

主な連結経営指標

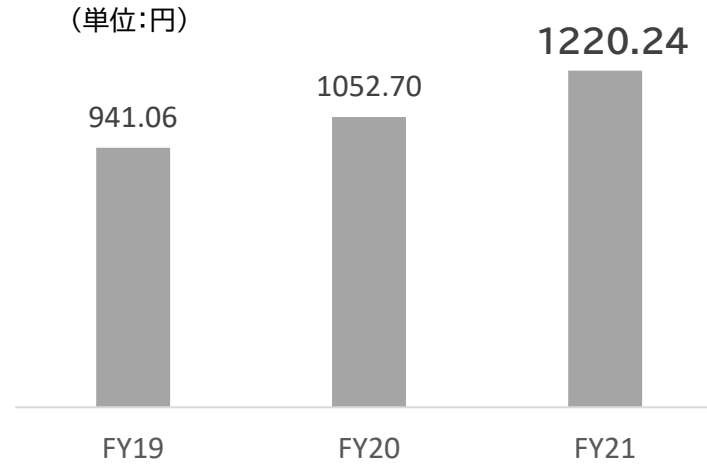
売上高

(単位:百万円)



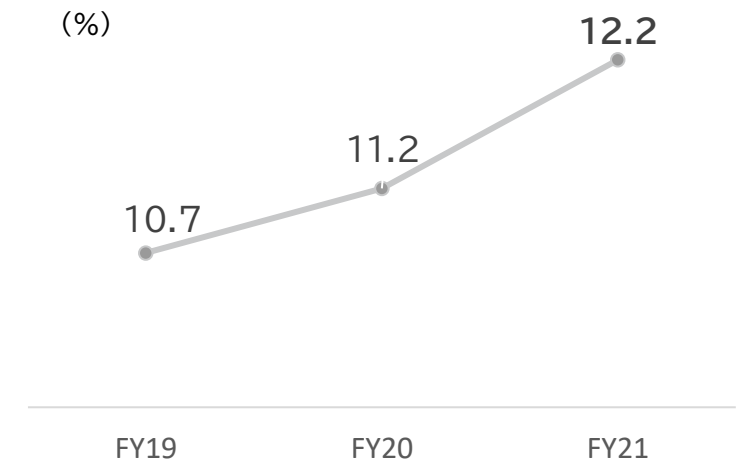
1株当たり純資産(BPS)

(単位:円)



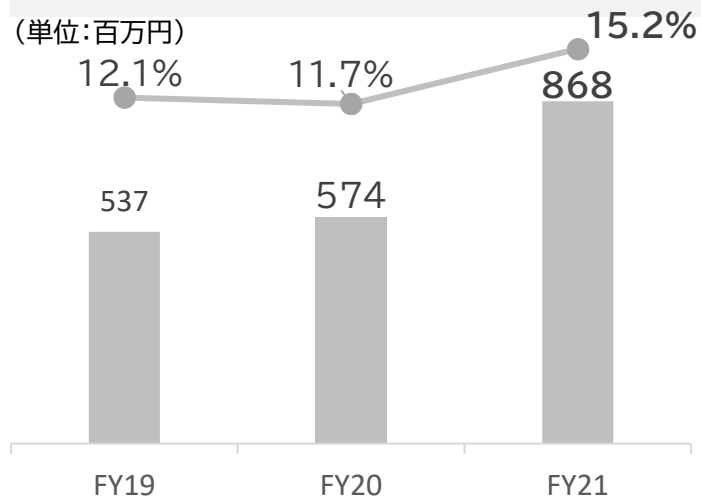
自己資本利益率(ROE)

(%)



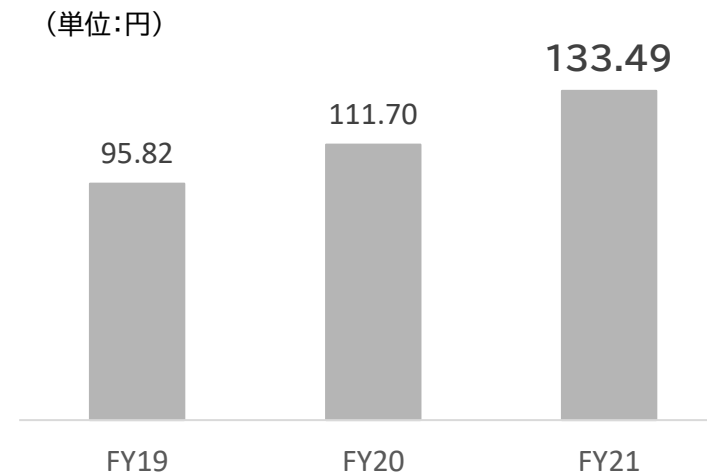
営業利益及び営業利益率

(単位:百万円)



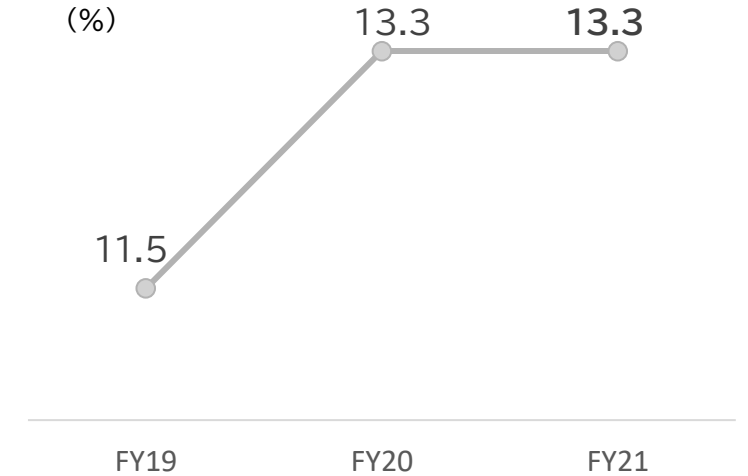
1株当たり当期純利益(EPS)

(単位:円)



総資産経常利益率(ROA)

(%)



信頼とともに

サイバートラストは、ITインフラに関わる専門性・中立性の高い技術で、
安心・安全な社会を実現します

ITインフラに関わる社会的責任のある企業として「持続可能な開発目標(SDGs)」への対応を重要な経営課題と認識しております。

当社は、事業・企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に向け、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。



当社におけるSDGsの取り組み

当社は、次の4つのマテリアリティ(重要な社会課題)に取り組むことで、事業の成長とともに持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

4つのマテリアリティと主な取り組みは以下と通りとなります。その他当社のSDGsに関する取り組みは当社ウェブサイト(<https://www.cybertrust.co.jp/corporate/sdgs/>)よりご確認ください。

事業活動を通じて取り組む社会課題

DXを支えるトラストサービス推進による安心・安全なデジタル社会の実現

- 当社の認証サービス、IoTサービスの提供

関連するSDGs



オープンイノベーションによるテクノロジーの発展

- OSSコミュニティや業界団体での仕様策定、PoC(Proof of Concept)の実施、政府への提言、情報発信などを行う活動に参加
- DXを推進する企業とのパートナーシップと共同で社会課題を解決

関連するSDGs



会社活動を通じて取り組む社会課題

レジリエントな組織づくりによる企業成長の実現

- 多様な働き方ができるようテレワークに関する制度等各種制度を設定
- ジェンダー平等を実現するため、女性の積極採用等施策を実施

関連するSDGs



省資源・省エネルギー化による持続可能な社会への貢献

- 当社データセンターは、カーボンフリー電力を導入した施設で運用しており、加えて、省電力ハードウェア製品の導入や機材集約化により消費電力を削減し、照明や空調設備などを省電力化
- 電子契約サービスの全面的な導入により、ペーパーレス化を推進

関連するSDGs



会社情報

| | |
|----------------------------|---|
| 商号 | サイバートラスト株式会社 Cybertrust Japan Co., Ltd. |
| 設立 | 2000年6月1日 |
| 役員体制 | 代表取締役社長 眞柄 泰利 取締役副社長 北村 裕司 取締役 清水 哲也 取締役 香山 春明 社外取締役 築田 稔 社外取締役 広瀬 容子 社外取締役 田島 弓子 |
| 資本金 (2022年9月30日 現在) | 801,537千円 |
| 主な株主 (2022年9月30日 現在) | SBテクノロジー株式会社 株式会社オービックビジネスコンサルタント 日本電気株式会社 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ セコム株式会社 大日本印刷株式会社 株式会社日立製作所 THE BANK OF NEWYORK 133595 株式会社サンブリッジコーポレーション 株式会社日本カストディ銀行(信託口) |
| 事業所 | 本社(六本木一丁目)、松江ラボ |

| | |
|------|---|
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 認証サービス事業、セキュリティソリューション事業 ● Linux OS開発、OSSを活用したエンタープライズ向けソフトウェア開発、サポートおよびコンサルティング事業 ● IoT関連事業、組み込みLinux関連事業 |
| 関係会社 | <p><連結子会社></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リネオソリューションズ株式会社 ・Cybersecure Tech Inc. ・その他1社 <p><関連会社></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本RA株式会社 ・その他1社 |

デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代に必須の トラストサービスを提供



認証セキュリティとLinux/OSSの技術を組み合わせることにより
DXの課題解決に向けた独自のトラストサービスを提供



デジタル社会の身分証である電子証明書、電子的本人確認・電子署名などのトラストサービスを提供

国内初の商用電子認証局かつ国際的な監査規格に合格した電子認証局の運営実績

当社の提供する、
認証・セキュリティサービス

**現実社会の
証明書**

- 運転免許証
- パスポート
- 印鑑証明書



**デジタル社会の
証明書**

- 電子証明書
- 電子的本人確認や電子署名

サーバー証明書
(SureServer)

ウェブサイトの実在性
 SureServer Prime

デバイス証明書
(デバイスID)

業務利用許可端末の認証

ユーザー証明書

従業員・会員などの認証

iTrustサービス 電子取引の信頼性を担保

- 電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律第17条第1項第6号の規定に基づく主務大臣認定事業者

行政が保証

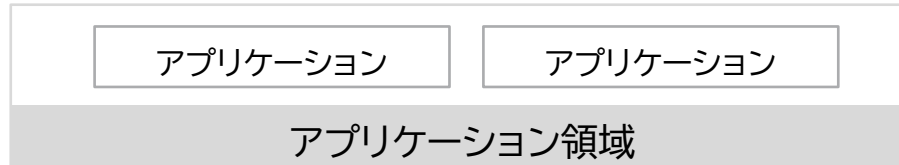
書面や郵送などでの手続き

電子認証局が保証

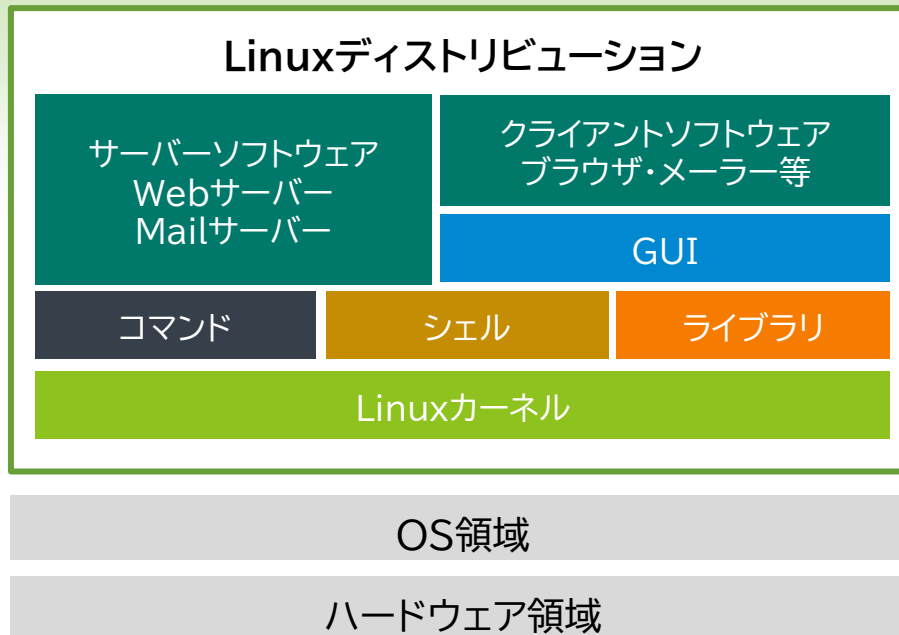
申請者の本人確認・証明書の発行・発行済証明書の管理を行う機関。当社は国内初の商用電子認証局を20年以上に渡り運営。

グローバルOSSコミュニティで活躍するエンジニア集団による 国内唯一のLinux/OSSディストリビューター

一般的なSier



OS上にアプリケーションシステムを構築



Linuxカーネルに必要な機能を組み合わせ
Linuxディストリビューションとして提供・サポート

重要システムで多数の採用実績

航空管制システム、産業機器、通信インフラ、
自動車など

10年以上の長期サポートに対応

*OSSコミュニティでのサポートは5~6年で終了

*生産、販売終了から5~9年の製品の補修用性能部品の保有期間に対応

実績の自社製品群

サーバー監視、脆弱性管理、セキュリティ、IoT向けLinux



IoT機器向けLinux OSの提供から、認証、ライフサイクル管理までを提供する技術力

IoT機器をセキュアに動かす
Linux/OSS 技術

自社製品

 EMLinux

- IoT機器に対して脆弱性アップデートを10年間提供(延長可能)

IoT機器の真正性確認をする
認証・セキュリティ 技術

自社サービス

 Secure IoT Platform

セキュアIoTプラットフォーム(SIOTP)

- IoT機器の安全性を担保、真正性を認証し長期のライフサイクル管理を提供
- OTAアップデート、セキュアブートなどクラウド環境で必要なサイバーセキュリティ対策を網羅

IoT機器のライフサイクル管理を実現する
IoT機器/クラウド連携 技術



全ての技術をトータルで提供できる世界でも稀有な会社

IoT機器製造と運用における国際基準に対応 (IEC62443/NIST SP800/FIPS140-3/WP29-ISO21434 など)

| 用語 | 説明 |
|------------|---|
| 電子証明書 | 「対象を正しく認証・特定するデジタル化された身分証明書」のことで、信頼できる第三者機関としての電子認証局が対象を審査して発行することにより、ヒトやモノなどの正しさを証明するもの |
| 電子認証 | ネットワーク上や、複数の利用者がいるシステムにおいて、利用者本人であることを電子的に確認し、なりすましの防止や情報の改ざんを防ぐこと |
| 電子認証局 | 電子証明書の発行や失効などを行う権限を有し、登録局(審査を実施)と発行局(発行や失効などを実施)により構成される |
| サーバ証明書 | ウェブサイトの「運営者の実在性を確認」し、ブラウザとウェブサーバ間で「通信データの暗号化」を行うための電子証明書 |
| EVサーバ証明書 | Extended Validationの略称。世界統一の厳格な審査基準に則って発行され、また監査機関により定められた監査に合格した電子認証事業者のみが発行できる、最も信頼性の高いSSL/TLS証明書 |
| マルチドメイン証明書 | 異なるドメインを含む FQDN であっても、Subject Alternative Names (SAN) の領域に登録して複数のドメインに利用することができる証明書 |
| ワイルドカード証明書 | 同一ドメインの異なる複数サブドメインに対して 1 つの証明書で利用可能な証明書 |
| SSL化 | Webサイトとそのサイトを閲覧しているユーザとのやり取り(通信)を暗号化すること |

| 用語 | 説明 |
|------------------------|--|
| クライアント証明書 | ユーザのデバイス(PCやスマートフォン等)に証明書をインストールし、そのユーザが正規の利用者であることを認証する電子証明書。大きく「ユーザ証明書」と「デバイス証明書」の2種類となる |
| デバイス証明書 | スマートフォンやタブレットなど、情報端末に発行される。社内ネットワークへのアクセス権を「証明書の入った端末のみ」と制御することで、権限のない情報端末によるアクセスを防ぐ |
| ユーザー証明書 | 社員証やシステムログインカードなど、個人を認証するために用いられる |
| VAR | 付加価値再販業者。販売するサービスの一部として、デバイスIDを組み込んだり、オプションとして選べるようにして販売するパートナー契約のこと。 |
| Linux | 無償でソースコードが公開され、誰もが利用・複製・改変・再配できるオペレーティングシステム。必要な機能を選択して再構築できることから、サーバーや組み込みシステムとして電化製品などの幅広い用途に利用されている |
| OS | オペレーティングシステムの略称。コンピューターのシステム全体を管理し、種々のアプリケーションソフトに共通する利用環境を提供する基本的なプログラム |
| OSS (オープンソースソフトウェア) | ソフトウェアの設計図にあたるソースコードが無償で公開されており、誰でも使用及び改良や再配布ができるソフトウェア |
| Linuxディストリビューション | Linuxカーネルとその他ソフトウェア群を1つにまとめ、利用者が容易にインストール・利用できるようにしたもの |

| 用語 | 説明 |
|--------------|--|
| RHEL | Red Hat Enterprise Linuxの略。Red Hat社によって開発、販売されている業務向けのLinuxディストリビューションのこと。 |
| CentOS | RHELと高い互換性を持つコミュニティベースの無償LinuxOS |
| OSSコミュニティ | オープンソースソフトウェア(OSS)の開発や改善、情報交換などを主な目的として、利用者、開発者、愛好者らによって構成され非営利目的で運営される団体。世界中に散在するメンバー間でソースコードを共有し、共同開発や関連情報の発信、勉強会の開催などを行っている |
| SBOM | Software Bill of Materials:ソフトウェアに含まれるコンポーネントや依存関係、ライセンスの種類などをリスト化したソフトウェア部品表のこと。 |
| 統合監視ツール | サーバーが正常に稼働しているかどうか、サーバーから稼働情報を取得することで、稼働状況を把握・分析するためのツール |
| 組込み | 特定用途向けに特化、限定した機能を果たすことを目的とした機器およびシステム。携帯電話やカメラなどの電子機器や家電製品・自動車等 |
| リアルタイム(RT)OS | 一般的な汎用OSと違い、リアルタイム性を重視した、組込みシステムで多く用いられるOS |
| ROT | Root of Trust (信頼の基点): ハードウェアやソフトウェアに関するセキュリティにおいて、信頼性を実現する根幹となる部分のこと。 |
| Sigstore | OSSの出所と真正性を確認する署名サービス |

製品名対照表

| 機能 | 正式製品名 | 本資料における略称 |
|--------------------|---------------------|------------------|
| 【認証・セキュリティ】 | | |
| SSL/TLSサーバー証明書 | SureServer | SureServer |
| 端末認証 | サイバートラスト デバイスID | デバイスID |
| 認証局アウトソーシングサービス | サイバートラスト マネージドPKI | マネージドPKI or MPKI |
| 本人確認 | iTrust 本人確認サービス | iTrust |
| 電子署名用証明書 | iTrust 電子署名用証明書 | iTrust |
| 電子署名 | iTrust リモート署名サービス | iTrust |
| 【Linux/OSS】 | | |
| サーバーOS/クラウド基盤 | MIRACLE LINUX | MIRACLE LINUX |
| 統合監視 | MIRACLE ZBX | MIRACLE ZBX |
| 【IoT】 | | |
| IoT向けLinux | EMLinux | EMLinux |
| IoTトラストサービス | Secure IoT Platform | SIOTP |

製品・サービス紹介ページ一覧

| 製品・サービス紹介ページ | URL |
|-----------------------|---|
| サイバートラスト株式会社Webサイト | https://www.cybertrust.co.jp/ |
| 【認証・セキュリティ】 | |
| SureServerサービス | https://www.cybertrust.co.jp/sureserver/ |
| サイバートラスト デバイスIDサービス | https://www.cybertrust.co.jp/deviceid/ |
| iTrustサービス | https://www.cybertrust.co.jp/itrust/ |
| 【Linux/OSS】 | |
| MIRACLE LINUX製品 | https://www.cybertrust.co.jp/miracle-linux/ |
| CentOSサポートサービス | https://www.cybertrust.co.jp/centos/ |
| MIRACLE ZBX製品 | https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/ |
| MIRACLE VulHammer製品 | https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/vul-hammer/ |
| 【IoT】 | |
| EMLinux製品 | https://www.cybertrust.co.jp/iot/emlinux.html |
| セキュア IoT プラットフォームサービス | https://www.cybertrust.co.jp/siotp/index.html |

プレスリリース一覧(FY22 Q2)

【認証・セキュリティ】

サイバートラストの「iTrust」、不動産のトラスト DX プラットフォームに採用
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0809-scala-itrust.html>

サイバートラストの「iTrust」とネクスウェイ本人確認サービスの「IC チップ署名検証」が連携
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0818-nexway-itrust.html>

サイバートラストの「iTrust」と不動産取引特化型電子契約サービス「PICKFORM」が連携
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0822-pickform-itrust.html>

サイバートラストの「iTrust」と Y4.com の健康管理プラットフォーム「GENKIMIRU」が連携
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0825-y4com-itrust.html>

サイバートラスト、端末認証サービス「サイバートラスト デバイス ID」をSaaS 一元管理ツール「メタップクラウド」と連携
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0830-device-id-metapscloud.html>

サイバートラストが「iTrust 株主総会資料 発行元証明/改ざん対策 ソリューション」を提供開始
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0831-itrust-e-stamp.html>

【Linux/OSS】

企業向けシステムバックアップ製品「MIRACLE System Savior」が Red Hat Enterprise Linux 9 に対応
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0721-rhel9-backup.html>

Neutrix Cloud Japan がサイバートラストの「MIRACLE LINUX」を提供開始
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0803-neutrix-cloud.html>

サイバートラスト、OSS のサプライチェーンセキュリティへの対応を推進
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0824-oss-supply-chain-security.html>

脆弱性管理ツールに機能追加し、大規模・複数テナントでの監視対象の一括管理やSBOM を活用した脆弱性管理を実現
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0928-mvh.html>

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社はこれを保証するものではありません
- 本資料に記載されている当社ならびに第三者の商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。「SureServer」、「iTrust」、「MIRACLE LINUX」及び「MIRACLE ZBX」はサイバートラスト株式会社の登録商標です。